

# 2023年3月期 第1四半期 決算説明

三菱ケミカルグループ  
2022年8月3日

# 目 次

## <2023年3月期 第1四半期 連結決算>

・決算ハイライト	… 3
・連結損益計算書	… 4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	… 5
・コア営業利益 (全社) 増減要因	… 6
・事業セグメント別 コア営業利益増減分析	… 7
・医薬品 製品別売上収益	… 11
・非経常項目	… 12
・連結キャッシュ・フロー計算書	… 13

・連結財政状態計算書	… 14
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	… 15

## <参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	… 17
・事業セグメント別 EBITDAマージン推移	… 18

## <参考資料②>

・ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等	… 20
-----------------------------	------

## 2023年3月期

### 第1四半期決算

- 原燃料価格の高騰、サプライチェーンの混乱等の事業環境下、価格転嫁活動やコスト削減を推し進めるなか円安も寄与し、売上収益は過去最高を計上。
- コア営業利益は前年同期比19%減益、上期業績予想に対する進捗率は58%で推移した。全セグメントにおいて50%以上の進捗率。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比10%減、上期予想進捗率73%。

### 業績予想

- 期初予想を据え置く。
- 原燃料価格の高止まりに加え欧米を中心とした景気減速の流れなど、事業環境の見通しが引き続き不透明なことから期初予想並みを見込む。
- 第2四半期以降も価格転嫁や地域需要に応じたオペレーションの適正化、コスト削減を着実に実行する。

# 連結損益計算書

	23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/13発表 上期予想	進捗率
為替レート (¥/\$)	131.3	109.8	21.5	20%	125.0	
ナフサ単価 (¥/kl)	86,100	47,700	38,400	81%	81,000	
	(億円)				<参考>	
<b>売上収益</b>	<b>11,065</b>	9,283	<b>1,782</b>	19%	21,620	51%
<b>コア営業利益 *1</b>	<b>721</b>	887	△ <b>166</b>	△19%	1,250	58%
非経常項目	△ <b>41</b>	△ 17	△ <b>24</b>		△ 40	
<b>営業利益</b>	<b>680</b>	870	△ <b>190</b>	△22%	1,210	56%
金融収益・費用	<b>71</b>	△ 17	<b>88</b>		△ 50	
(内、受取配当金)	<b>(78)</b>	(38)	<b>(40)</b>			
(内、為替差損益)	<b>(37)</b>	(△ 0)	<b>(37)</b>			
<b>税引前利益</b>	<b>751</b>	853	△ <b>102</b>	△12%	1,160	65%
法人所得税	△ <b>218</b>	△ 261	<b>43</b>		△ 360	
<b>四半期利益</b>	<b>533</b>	592	△ <b>59</b>		800	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	<b>449</b>	499	△ <b>50</b>	△10%	615	73%
非支配持分に帰属する四半期利益	<b>84</b>	93	△ <b>9</b>		185	
*1 内、持分法投資損益	<b>40</b>	46	△ <b>6</b>			

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

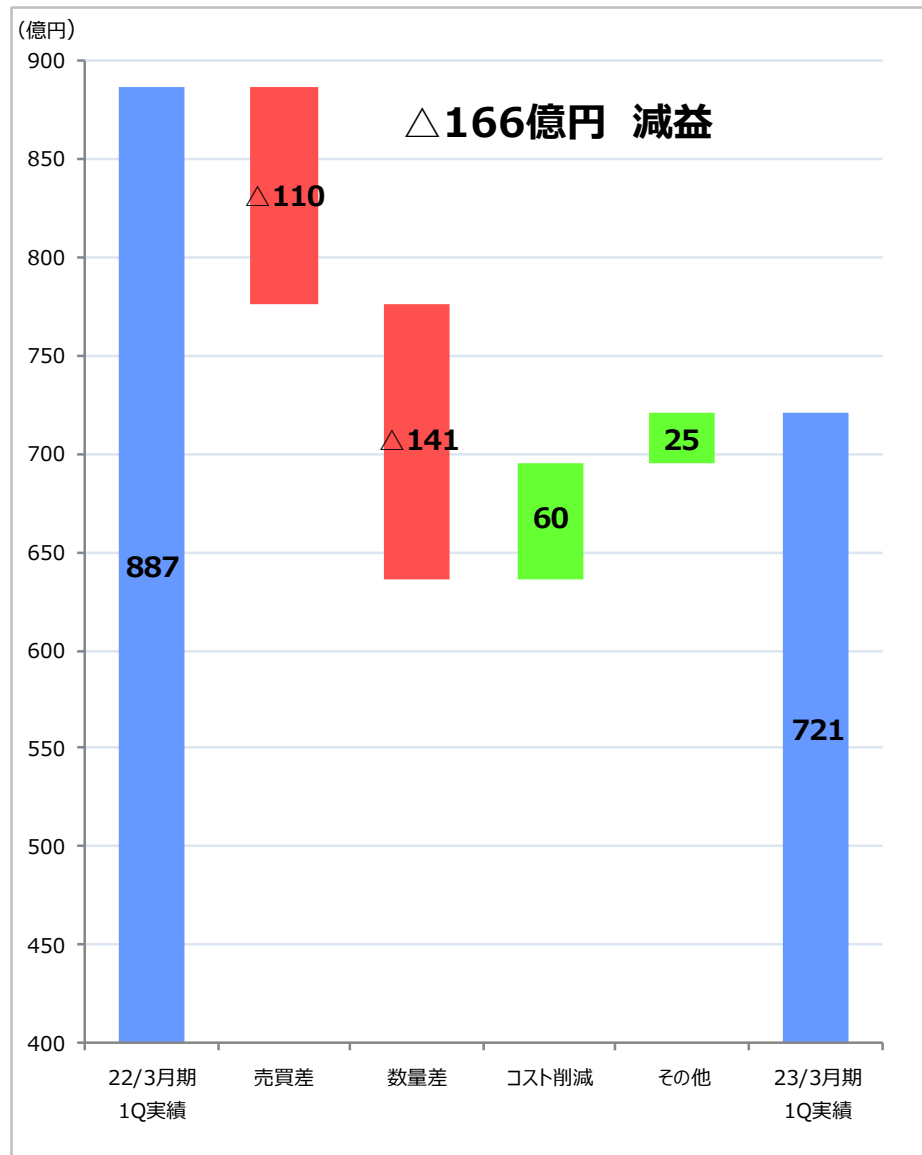
		(億円)			<参考>		
		23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/13発表 上期予想	進捗率
<b>全社</b>	売上収益	11,065	9,283	1,782	19%	21,620	51%
	コア営業利益	721	887	△ 166	△19%	1,250	58%
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	884	801	83		1,640	
	コア営業利益	67	80	△ 13		125	
フィルムズ&モールドイングマテリアルズ	売上収益	1,370	1,202	168		2,570	
	コア営業利益	109	153	△ 44		200	
アドバンスソリューションズ	売上収益	941	828	113		1,940	
	コア営業利益	36	33	3		80	
<b>機能商品</b>	売上収益	3,195	2,831	364	13%	6,150	52%
	コア営業利益	212	266	△ 54	△20%	405	52%
MMA	売上収益	800	776	24		1,730	
	コア営業利益	26	123	△ 97		170	
石化	売上収益	1,863	1,604	259		3,980	
	コア営業利益	67	160	△ 93		65	
炭素	売上収益	927	539	388		1,920	
	コア営業利益	96	65	31		115	
<b>ケミカルズ</b>	売上収益	3,590	2,919	671	23%	7,630	47%
	コア営業利益	189	348	△ 159	△46%	350	54%
<b>産業ガス</b>	売上収益	2,739	2,168	571	26%	4,680	59%
	コア営業利益	295	238	57	24%	505	58%
<b>ヘルスケア</b>	売上収益	1,034	984	50	5%	2,040	51%
	コア営業利益	33	47	△ 14	△30%	10	330%
その他	売上収益	507	381	126		1,120	
	コア営業利益	△ 8	△ 12	4		△ 20	

\* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

### 【在庫評価損益】

ポリマーズ&コンパウンズ	3	10	△ 7
石化	220	90	130
炭素	82	△ 6	88
合計	305	94	211

# コア営業利益(全社) 増減要因

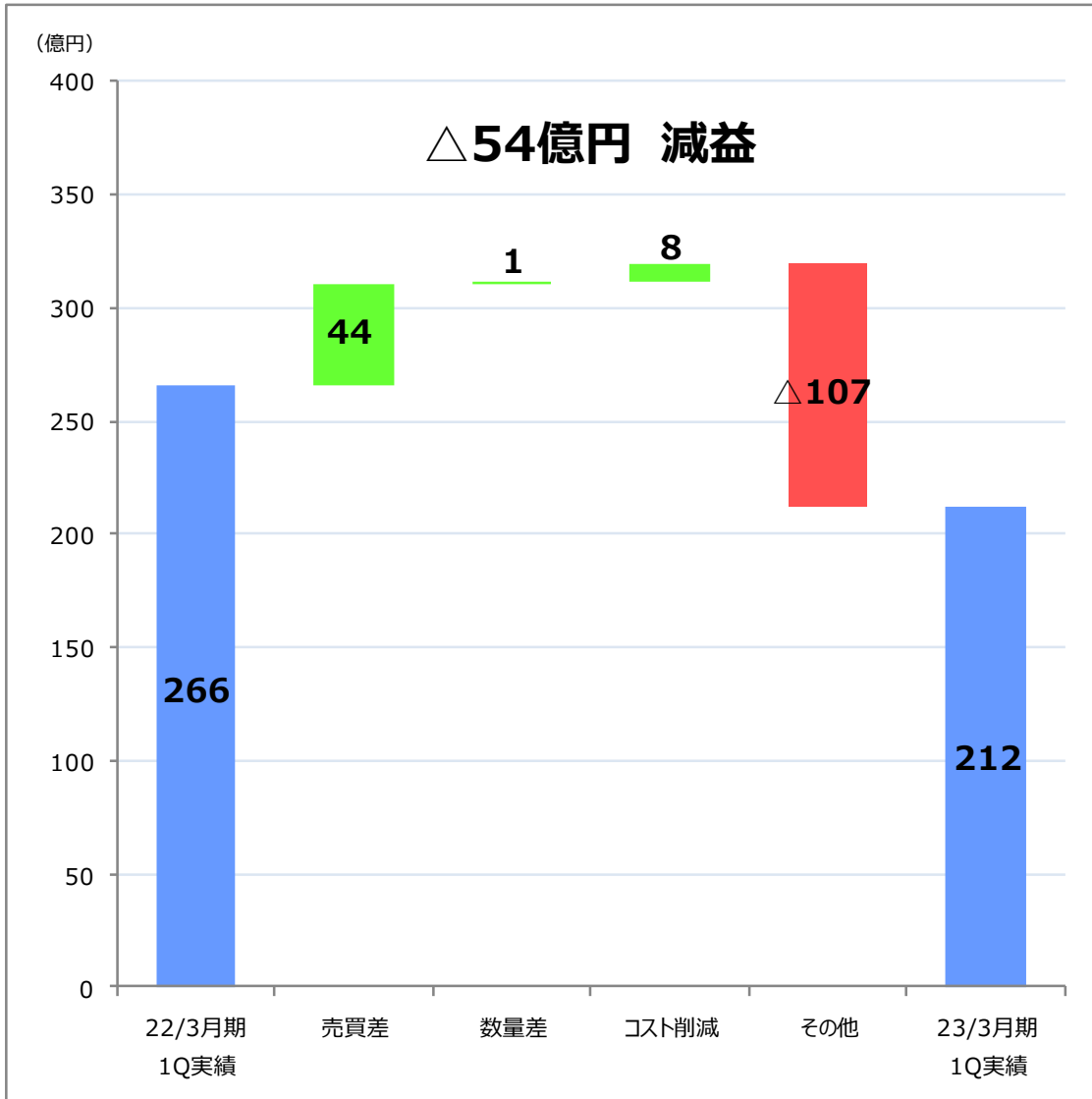


	23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績	増減				
			売買差	数量差	コスト削減	その他 *1	
<b>全社</b>	<b>721</b>	887	△166	△110	△141	60	25
機能商品	212	266	△54	44	1	8	△107
ケミカルズ	189	348	△159	△174	△187	0	202
産業ガス	295	238	57	36	27	42	△48
ヘルスケア	33	47	△14	△19	15	9	△19
その他	△8	△12	4	3	3	1	△3

\*1 在庫評価損益・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

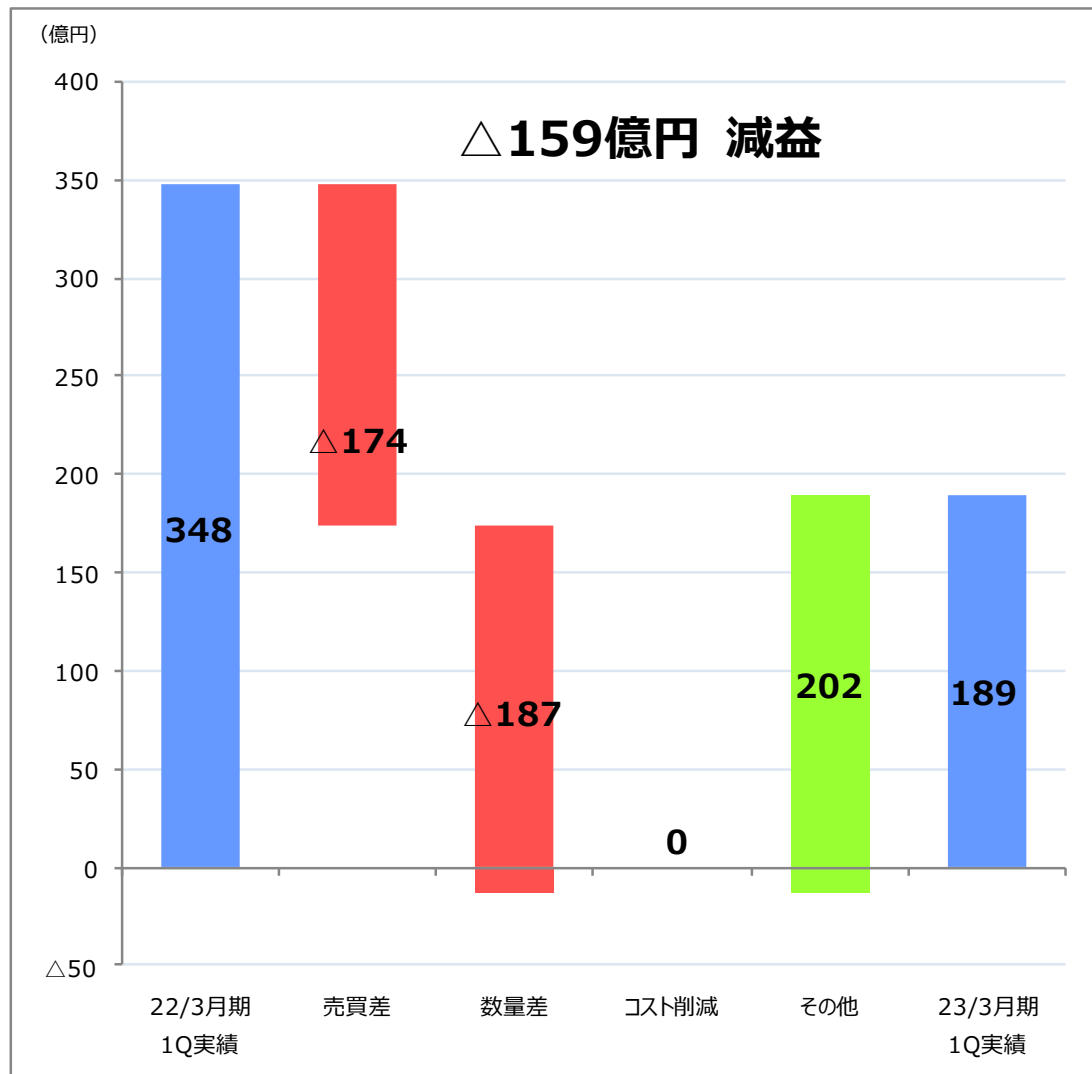
為替影響	51	88	0	-	△37
うち換算差		58			

# 機能商品セグメント コア営業利益増減分析



<b>ポリマーズ &amp; コンパウンズ (△13)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (+) 原料価格上昇に伴う価格転嫁</li> <li>・数量差 (-) 自動車向け中心に減販</li> <li>・その他 (※)</li> </ul>
<b>フィルムズ &amp; モールディングマテリアルズ (△44)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (+) モールディングマテリアルズを中心に価格転嫁進捗</li> <li>・数量差 (+) モールディングマテリアルズの需要堅調</li> <li>・数量差 (-) フィルムズの光学用途需要減</li> <li>・その他 (※)</li> </ul>
<b>アドバンストソリューションズ (+3)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (+) 原料価格上昇に伴う価格転嫁</li> <li>・数量差 (+) 半導体関連事業の需要堅調</li> <li>・その他 (※)</li> </ul>
<b>(※)その他内訳 (△107)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(-) アルミナ繊維事業譲渡影響</li> <li>(-) 販売活動回復に伴う費用増加、人件費増加</li> </ul>

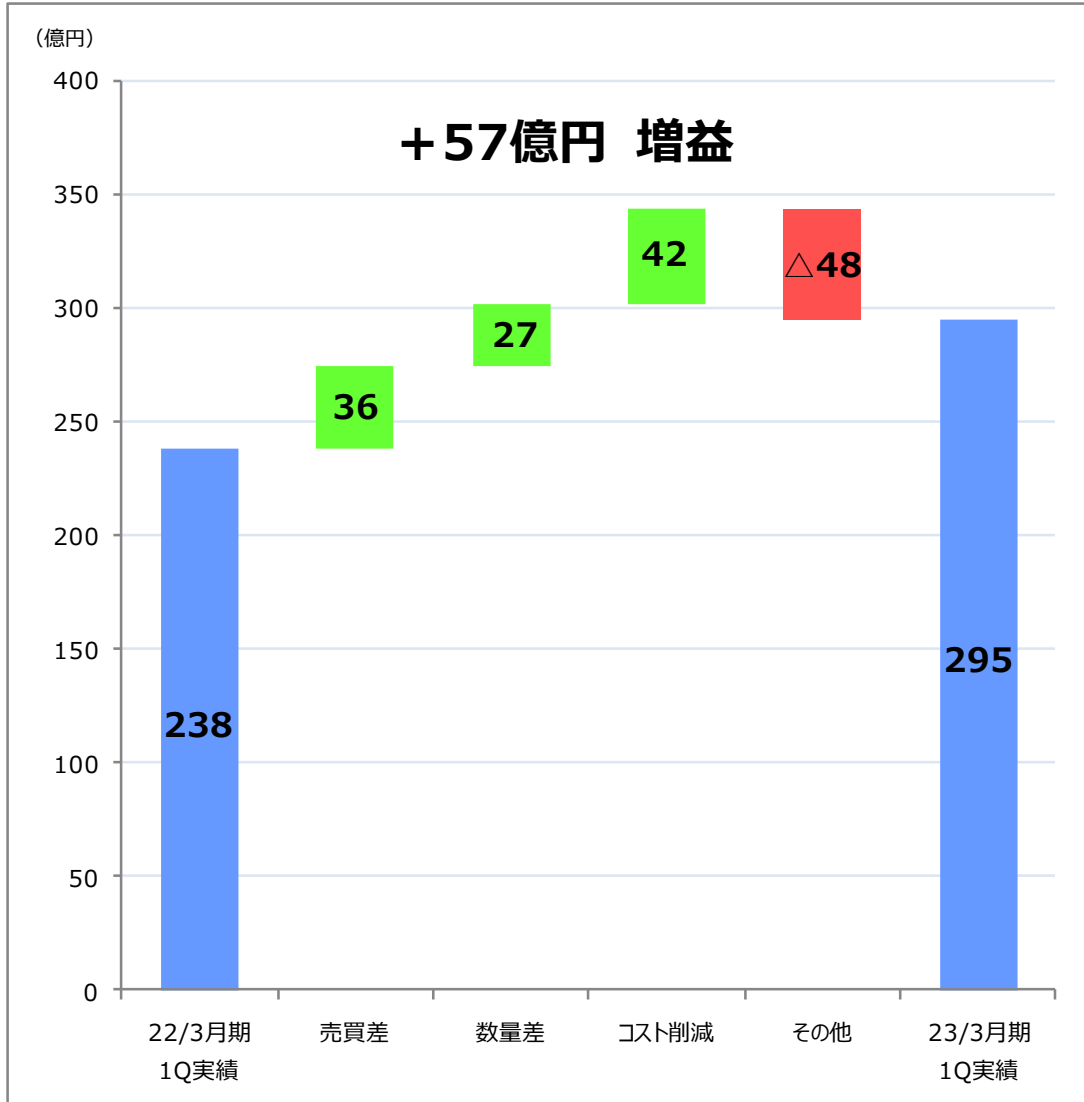
# ケミカルズセグメント コア営業利益増減分析



<p><b>MMA</b> (△97)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (-) 原燃料価格上昇に伴う売買差悪化</li> <li>・数量差 (-) 欧州やアジアにおける需要減</li> </ul>
<p><b>石化</b> (△93)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (-) ポリオレフィンの価格改定時期ズレ、ビスフェノールA等の市況下落</li> <li>・数量差 (-) 定修規模差による生産減</li> <li>・その他 (+) 原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> </ul>
<p><b>炭素</b> (+31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (-) 原燃料価格上昇に伴うコークスの売買差悪化</li> <li>・その他 (+) 原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> </ul>

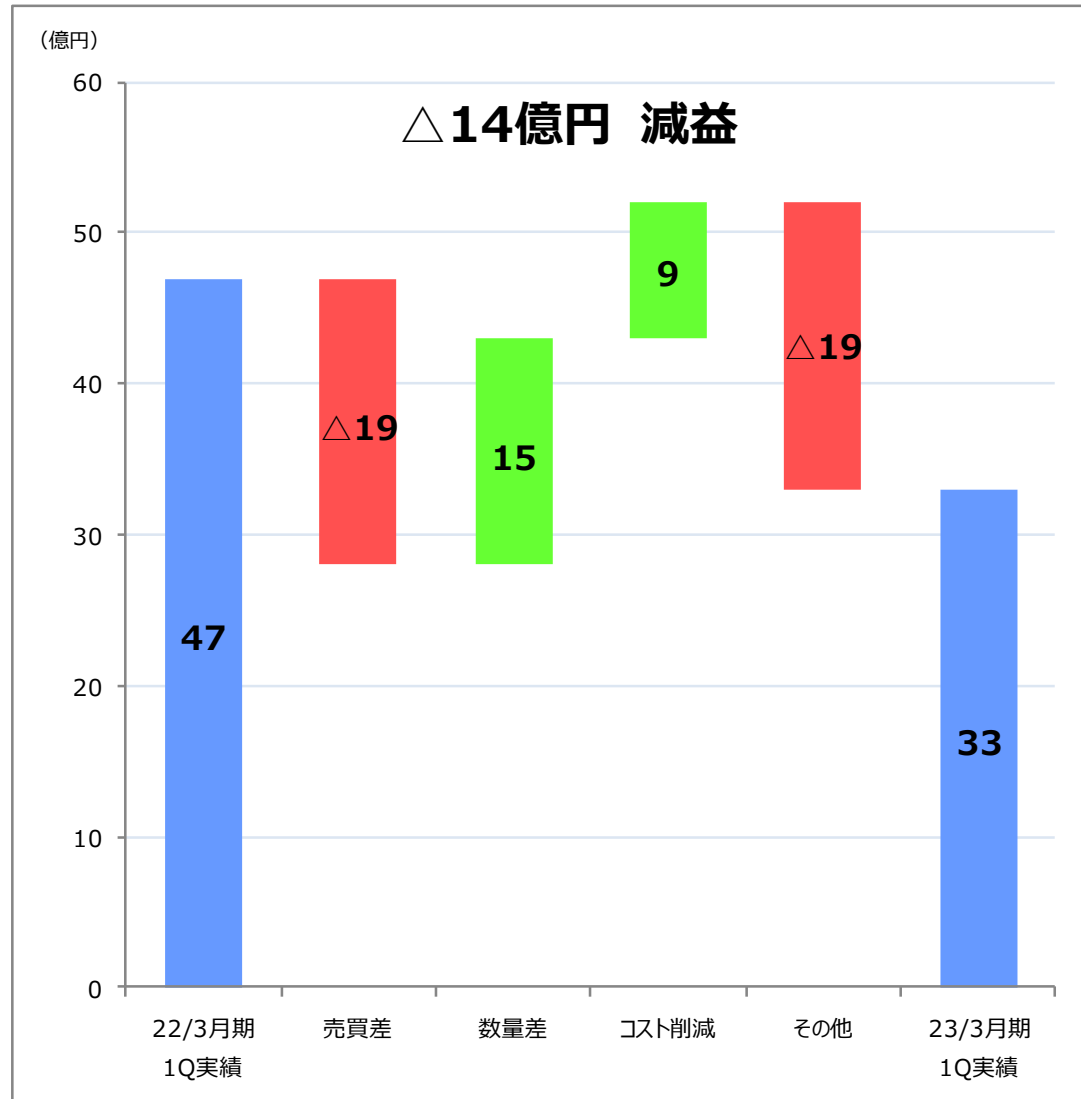


# 産業ガスセグメント コア営業利益増減分析



<b>産業ガス (+57)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買差 (+) 燃料価格上昇に伴う価格転嫁</li> <li>・数量差 (+) 国内外の需要が堅調に推移</li> <li>・コスト削減 (+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動</li> <li>・その他 (-) 販売活動回復に伴う費用増加</li> </ul>
-----------------------	--

# ヘルスケアセグメント コア営業利益増減分析



ヘルスケア  
(△14)

- ・売買差  
(-) 国内医療用医薬品の薬価改定
- ・数量差  
(+) 重点品の販売伸長
- ・その他  
(-) 為替影響による研究開発費の増加

# 医薬品 製品別売上収益(2023年3月期 1Q実績)

(億円)

	23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績	増減		23/3月期 通期予想	進捗率 (%)
			(金額)	(%)		
国内医療用医薬品	772	745	26	3.6	3,086	25.0
重点品・新製品	440	378	62	16.3	1,774	24.8
ステラーラ	151	114	37	32.2	646	23.3
シンボニー	114	111	3	3.1	427	26.8
テネリア	38	38	△ 1	△ 1.7	143	26.4
カナグル	30	30	1	1.7	130	23.5
カナリア	22	25	△ 3	△ 12.9	105	20.5
バフセオ	5	1	4	486.3	31	15.1
レクサプロ	39	39	△ 0	△ 0.2	130	30.4
ユプリズナ	7	1	5	427.0	32	20.5
ルパフィン	22	19	3	17.1	99	22.1
ジスバル	12	-	12	-	31	39.5
ワクチン	73	62	11	17.9	428	17.2
インフルエンザ	-	△ 0	0	-	145	-
テトラビック	25	26	△ 1	△ 3.4	100	24.9
ジェービックV	16	3	13	368.3	63	26.0
ミールビック	16	19	△ 2	△ 12.5	62	26.3
水痘ワクチン	13	11	2	17.7	45	29.0
長期収載品等	259	305	△ 46	△ 15.2	884	29.2
レミケード	92	104	△ 13	△ 12.1	312	29.4
海外医療用医薬品	156	144	12	8.4	811	19.2
ラジカヴァ	75	64	11	17.5	270	27.9
ロイヤリティ収入等	31	43	△ 13	△ 29.1	102	30.3

# 非経常項目

(億円)

	23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績	増減
<b>非経常項目 合計</b>	<b>△ 41</b>	△ 17	<b>△ 24</b>
仲裁裁定に伴う損失	△ 34	-	△ 34
減損損失	△ 2	△ 1	△ 1
固定資産除売却損	△ 2	△ 3	1
その他	△ 3	△ 13	10

## 【セグメント別内訳】

機能商品	△ 11	△ 13	2
ケミカルズ	△ 0	△ 0	0
産業ガス	△ 28	-	△ 28
ヘルスケア	△ 0	△ 0	0
その他	△ 2	△ 4	2

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	23/3月期 1Q実績	22/3月期 1Q実績
<b>営業活動によるCF</b>	235	819
税前損益	751	853
減価償却費	664	624
営業債権債務	△ 39	186
棚卸資産	△ 529	△ 344
その他	△ 612	△ 500
<b>投資活動によるCF</b>	△ 626	△ 574
設備投資	△ 692	△ 557
資産売却	54	52
投融資 他	12	△ 69
<b>FCF</b>	<b>△ 391</b>	<b>245</b>
<b>財務活動によるCF</b>	329	△ 1,166
有利子負債	648	△ 930
配当 他	△ 319	△ 236
<b>現金及び現金同等物の増減</b>	<b>△ 62</b>	<b>△ 921</b>
<b>為替換算差等</b>	<b>134</b>	<b>22</b>
<b>現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>2,458</b>	<b>3,496</b>
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>2,530</b>	<b>2,597</b>

# 連結財政状態計算書

	(億円)		
	22/6月末	22/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,530	2,458	72
営業債権	8,550	8,260	290
棚卸資産	8,192	7,452	740
その他	1,996	1,691	305
<b>流動資産合計</b>	<b>21,268</b>	<b>19,861</b>	<b>1,407</b>
固定資産	24,616	23,485	1,131
のれん	7,324	7,054	270
投融資等	5,248	5,339	△ 91
<b>非流動資産合計</b>	<b>37,188</b>	<b>35,878</b>	<b>1,310</b>
<b>資産合計</b>	<b>58,456</b>	<b>55,739</b>	<b>2,717</b>

	(億円)		
	22/6月末	22/3月末	増減
有利子負債	24,266	22,899	1,367
営業債務	5,034	4,869	165
その他	9,545	9,528	17
<b>負債合計</b>	<b>38,845</b>	<b>37,296</b>	<b>1,549</b>
資本金・剰余金等	13,928	13,714	214
その他の資本の構成要素	1,640	867	773
<b>親会社の所有者に帰属する持分</b>	<b>15,568</b>	<b>14,581</b>	<b>987</b>
非支配持分	4,043	3,862	181
<b>資本合計</b>	<b>19,611</b>	<b>18,443</b>	<b>1,168</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>58,456</b>	<b>55,739</b>	<b>2,717</b>

ネット有利子負債 *1	21,736	20,441	1,295
ネットD/Eレシオ	1.40	1.40	0.00
親会社所有者帰属持分比率	26.6%	26.2%	0.4%
ROE *2	-	13.2%	-

\*1 ネット有利子負債(22/6月末)

=有利子負債24,266億円 - (現金・現金同等物2,530億円 + 手元運用資金残高-)

注) 有利子負債はリース負債を含む

\*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

		(億円)				(億円)	(億円)	
		22/3月期				23/3月期	23/3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	上期予想	下期予想
<b>全社</b>	売上収益	9,283	9,568	10,152	10,766	11,065	21,620	22,740
	<b>コア営業利益</b>	<b>887</b>	<b>674</b>	<b>628</b>	<b>534</b>	<b>721</b>	<b>1,250</b>	<b>1,500</b>
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	801	788	766	726	884	1,640	1,690
	<b>コア営業利益</b>	<b>80</b>	<b>38</b>	<b>11</b>	<b>56</b>	<b>67</b>	<b>125</b>	<b>125</b>
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	1,202	1,179	1,197	1,221	1,370	2,570	2,620
	<b>コア営業利益</b>	<b>153</b>	<b>118</b>	<b>72</b>	<b>96</b>	<b>109</b>	<b>200</b>	<b>200</b>
アドバンスソリューションズ	売上収益	828	869	859	927	941	1,940	2,060
	<b>コア営業利益</b>	<b>33</b>	<b>36</b>	<b>34</b>	<b>60</b>	<b>36</b>	<b>80</b>	<b>120</b>
<b>機能商品</b>	売上収益	2,831	2,836	2,822	2,874	3,195	6,150	6,370
	<b>コア営業利益</b>	<b>266</b>	<b>192</b>	<b>117</b>	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>405</b>	<b>445</b>
MMA	売上収益	776	734	733	738	800	1,730	1,710
	<b>コア営業利益</b>	<b>123</b>	<b>125</b>	<b>47</b>	<b>23</b>	<b>26</b>	<b>170</b>	<b>180</b>
石化	売上収益	1,604	1,718	1,899	2,001	1,863	3,980	4,580
	<b>コア営業利益</b>	<b>160</b>	<b>105</b>	<b>71</b>	<b>110</b>	<b>67</b>	<b>65</b>	<b>135</b>
炭素	売上収益	539	569	646	922	927	1,920	1,860
	<b>コア営業利益</b>	<b>65</b>	<b>44</b>	<b>95</b>	<b>54</b>	<b>96</b>	<b>115</b>	<b>85</b>
<b>ケミカルズ</b>	売上収益	2,919	3,021	3,278	3,661	3,590	7,630	8,150
	<b>コア営業利益</b>	<b>348</b>	<b>274</b>	<b>213</b>	<b>187</b>	<b>189</b>	<b>350</b>	<b>400</b>
<b>産業ガス</b>	売上収益	2,168	2,273	2,425	2,635	2,739	4,680	4,760
	<b>コア営業利益</b>	<b>238</b>	<b>245</b>	<b>256</b>	<b>250</b>	<b>295</b>	<b>505</b>	<b>545</b>
<b>ヘルスケア</b>	売上収益	984	1,001	1,136	915	1,034	2,040	2,220
	<b>コア営業利益</b>	<b>47</b>	<b>△ 36</b>	<b>35</b>	<b>△ 116</b>	<b>33</b>	<b>10</b>	<b>130</b>
その他	売上収益	381	437	491	681	507	1,120	1,240
	<b>コア営業利益</b>	<b>△ 12</b>	<b>△ 1</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>△ 8</b>	<b>△ 20</b>	<b>△ 20</b>

\* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

# 参考資料①



# 連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)	109.8	110.4	114.2	117.8	131.3
ナフサ単価 (¥/kl)	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100

(億円)

	22/3月期				23/3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
<b>売上収益</b>	9,283	9,568	10,152	10,766	11,065
<b>コア営業利益 *1</b>	887	674	628	534	721
非経常項目	△ 17	△ 13	23	316	△ 41
<b>営業利益</b>	870	661	651	850	680
金融収益・費用	△ 17	△ 42	△ 41	△ 28	71
(内、受取配当金)	(38)	(1)	(9)	(0)	(78)
(内、為替差損益)	(△ 0)	(7)	(2)	(20)	(37)
<b>税引前利益</b>	853	619	610	822	751
法人所得税	△ 261	△ 192	△ 156	△ 201	△ 218
<b>当期利益</b>	592	427	454	621	533
親会社の所有者に帰属する 当期利益	499	353	369	551	449
非支配持分に帰属する当期利益	93	74	85	70	84
*1 内、持分法投資損益	46	50	41	77	40

# 事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	22/3月期	23/3月期 1Q	23/3月期 予想	26/3月期 目標
<b>機能商品</b>	12%	12%	12%	約15%
MMA	17%	10%	15%	約26%
石化・炭素	11%	9%	7%	—
<b>ケミカルズ</b>	12%	9%	9%	—
<b>産業ガス</b>	20%	20%	21%	約25%
<b>ヘルスケア</b>	2%	7%	7%	約15%

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

# 参考資料②

## ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等

# 主な開発パイプライン 一覧

2022年7月25日現在

今回の進捗

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル <sup>*1</sup>	ALS / 経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 <sup>*2</sup>	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本 <sup>*2</sup>	IgG4関連疾患					
日本		全身性強皮症						
ワクチン	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防・高齢者 / 植物由来VLP <sup>*3</sup> ワクチン					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン <sup>*4 *5</sup>					
その他	TA-7284	日本	2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 <sup>*6</sup>					

\*1 日本、スイス、カナダで承認申請

\*3 VLP (Virus-Like Particle) : ウィルス様粒子

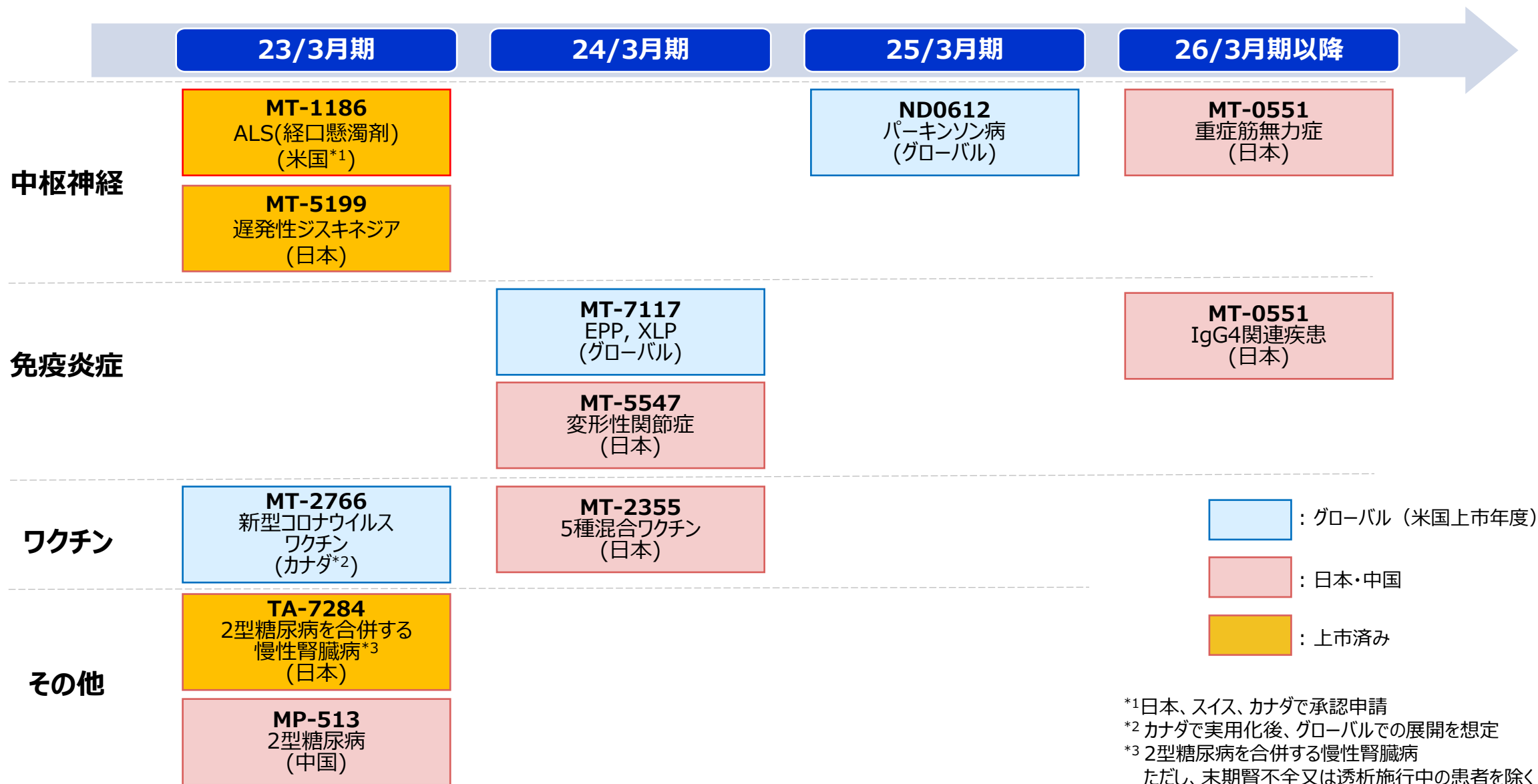
\*5 一般財団法人阪大微生物病研究会から申請

\*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

\*4 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

\*6 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

# 主な開発パイプラインの上市計画



\*1 日本、スイス、カナダで承認申請  
 \*2 カナダで実用化後、グローバルでの展開を想定  
 \*3 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病  
 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

# 開発進捗状況：中枢神経領域、免疫炎症領域

## ① 中枢神経領域

治験コード	適応症 / 特徴	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	グローバル*1	承認	• 米国で承認取得（5月）、上市（6月）
ND0612	パーキンソン病	グローバル	P3	• グローバルP3試験を実施中
MT-3921	脊髄損傷	グローバル	P2	• グローバルP2試験を実施中
MT-0551	重症筋無力症	日本*2	P3	• グローバルP3試験を実施中

## ② 免疫炎症領域

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	グローバル	P3	• グローバルP3試験を実施中
	全身性強皮症	グローバル	P2	• グローバルP2試験を実施中
MT-5547	変形性関節症	日本	P2/3	• P2/3試験終了
MT-0551	IgG4関連疾患	日本*2	P3	• グローバルP3試験を実施中
	全身性強皮症	日本	P3	• P3試験を開始（7月）

\*1日本、スイス、カナダで承認申請

\*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

# 開発進捗状況：ワクチン、その他

## ③ ワクチン

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況
MT-2355	5種混合ワクチン*1	日本	申請*2	• 日本で承認申請

## ④ その他（糖尿病・腎）

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
TA-7284	2型糖尿病を合併する慢性腎臓病*3	日本	承認	• 日本で承認（6月）

\*1 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

\*2 一般財団法人阪大微生物病研究会から申請

\*3 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

# RADICAVA ORS (MT-1186) 米国で発売 (6月)

## ■ 利便性の大幅な向上

- RADICAVA (注射剤) と同一成分の経口懸濁剤で、注射による痛みや投与のための通院など、ALS患者さんの負担を軽減

## ■ ALS治療薬ラインナップの拡充

- RADICAVA、Exservan に続いて、新たな治療選択肢を提供

## ■ さらなる事業拡大

- 日本 (3月)、スイス (4月)、カナダ (5月) で承認申請

ALS治療の  
リーディングカンパニーとして成長

**RADICAVA ORS**  
**米国で発売 (6月)**

2021年度 Exservan 発売  
(リルゾール経口フィルム製剤)

2017年度 RADICAVA 米国で発売  
(注射剤)



## 日本初の「遅発性ジスキネジア」の治療剤

- 6月から日本で発売
- 1日1回服用の経口剤
- ヤンセンファーマ、吉富薬品との3社共同で情報提供を実施



カナグル(TA-7284)適応追加承認(6月)

GIP/GLP-1受容体作動薬「チルゼパチド」\*1 販売提携契約締結(7月)

## 糖尿病・腎領域におけるポートフォリオの強化

当社が創製した  
2つの異なる  
メカニズムの  
糖尿病治療薬

DPP-4阻害剤と  
SGLT2阻害剤の  
国内初の配合剤

利便性の高い  
治療選択肢の提供

糖尿病・腎領域における  
さらなるプレゼンス拡大

2012年度  
DPP-4阻害剤  
「テネリア」発売

2014年度  
SGLT2阻害剤  
「カナグル」発売

2017年度  
テネリアとカナグルの  
配合剤  
「カナリア」発売

2020年度  
腎性貧血治療剤  
(経口剤)  
「バフセオ」発売

2021年度  
剤形追加  
「テネリアOD錠」発売

2022年6月  
適応追加  
2型糖尿病を合併する慢性腎臓病\*2  
「カナグル」

2022年7月  
日本イーライリリーと販売提携契約  
GIP/GLP-1受容体作動薬  
「チルゼパチド」\*1

\*1 国内で日本イーライリリーが製造販売承認を申請中

\*2 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

以上